

令和6年度事業

消防ポンプ自動車 CD-1型（水槽付）仕様書
（緊急消防援助隊施設整備費補助金対象車両）

山鹿市消防本部

目 次

第1章	総則	
1	目的	1
2	規格	1
第2章	仕様	
1	シャシ	2
2	主ポンプ	4
3	主ポンプ動力伝達装置	4
4	真空ポンプ	4
5	ポンプ不凍液装置	4
6	冷却装置	5
7	配管及び各コック	5
8	揚水装置	5
9	計器	5
10	水槽	6
11	車体の構造	6
12	電装関係	8
13	車載無線機等	9
14	塗装及び記入文字	9
15	取付品及び付属品	9
別表		10

第1章 総則

1 目的

この仕様書は、山鹿市消防本部（以下、「当本部」という。）が購入し、山鹿消防署鹿北分署に配置する消防ポンプ自動車 CD-1型（水槽付）（以下、「本車両」という。）のぎ装、性能及びこれらに関する仕様について定める。

2 規格等

- (1) 本車両は、消防自動車専用シャシ（ダブルキャブハイルーフ）にアルミ製高圧2段バランスタービンポンプ又は1段ポリュートポンプ及び水槽1200L以上を装備するとともに、必要器具を装備するものであって、河川、消火栓等の水利より強力な放水を成し、各種災害に対し速やかに活動できるものとし、ボデーはPP材等にて軽量化・耐腐食性を図ること。
- (2) ぎ装業者は、本仕様書を十分満足するほか、ぎ装業者の公表した標準仕様によりぎ装すること。
- (3) 製作にあたっては、本仕様書に基づくほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）及び緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年消防消第49号）の関連規定に適合し、日本消防検定協会の受託試験に合格しなければならない。
- (4) 本車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両法の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車としての承認が得られるものであること。
- (5) 本車両は、品質保持並びに環境配慮と、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については「品質管理システムISO9001」・「環境管理システムISO14001」を構築していること。
- (6) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けるものとする。
 - ア ぎ装中間検査（塗装前ぎ装検査）
 - イ 完成検査（納入検収時）
- (7) 製作に先立ち受注者は、契約後速やかに当本部担当者と詳細な打ち合わせを行い、次の書類を提出し、製作の承認を受けるものとする。

ア 製作工程表	3部（又は必要数）
イ 製作図（ぎ装5面図・配管図・電気配線図等）	3部（ 〃 ）
ウ 「ISO9001」・「ISO14001」登録証の写し	3部（ 〃 ）
エ その他、当本部が指示する書類	（必要数）
- (8) 完成車の納入時に、次のものを提出すること。

ア 完成図面	3部（又は必要数）
イ ポンプ性能試験結果	3部（ 〃 ）
ウ 受託試験合格証の写し	3部（ 〃 ）
エ 取扱説明書（ポンプ及びシャシ）	各3部（ 〃 ）
オ 工程写真（製作中工程及び試験実施工程）	3部（又は必要数）
カ 打合せによる議事録及びぎ装中間検査議事録	3部（又は必要数）
キ その他、当本部が指示する書類	（必要数）

- (9) 受注者は、製作に当たり本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合には、当本部担当者に連絡のうえ承認又は指示を受けるものとする。
- (10) 中間検査の実施及び中間検査代用写真の撮影は、赤塗装前の組み上げた状態で実施し、中間検査については議事録を作成すること。
- (11) 納入は、新規検査及び新規登録を受け次のとおりとする。
- ア 納入場所 山鹿市消防本部鹿北分署（山鹿市鹿北町四丁1612-2）
 - イ 納入期限 令和7年3月14日 自然災害の影響による物流遅延等、受注者の責めに帰さない事由により納期までに納品できない場合は、発注者に早急に連絡して協議を行うこと。
 - ウ 納入台数 1台（装備品、積載品等を含む）
- (12) 保証期間は納入後1年間とする。保証期間後であっても設計、工作或いは材質の不良に起因するものについては、保証期間を問わず無償で新品と取り換え又は修理を行うこと。
- (13) 契約締結から納入までの諸経費は受注者が負担するものとする。
- なお、本車両の新規登録に係る重量税、自動車損害賠償責任保険、リサイクル費用は発注者が負担するものとする。
- (14) 受注者は、「消防車両の安全基準について」に基づき、安全操作技能講習及び点検整備講習について、鹿北分署職員に対して無償で2回技術指導を行うこと。
- (15) 無線機及びAVM移設は日本電気株式会社がを行い、移設に関わるすべての費用は、受注者負担とすること。
- (16) 更新の対象となる現車両（熊本800は399）については、公売するため次のとおりとする。
- ア 受注者が速やかに一時抹消登録手続きを行い、一時抹消登録手続きが完了した旨を証明する一時抹消登録証明書を提出するものとする。
 - イ 現車両に取り付けている赤色灯、サイレン等は取り外し、当消防本部の名称表示は完全に消去すること。
 - ウ 重量税の還付手続きを含めること。（自賠償保険についても解約を行うため、自賠償保険証明書は当本部に返還すること）
 - エ その他、当本部消防総務課と協議すること。
- (17) その他について、次のとおりとする。
- ア 本仕様書に記載のない事項については、当本部担当員と協議のうえ決定し、受注者が議事録を作成すること。
 - イ 本仕様書に記載のない事項で、メーカーの公表した仕様及びぎ装については、当然これを施すこと。
 - ウ 型式等（付属品・部品含む）に変更が生じた場合（製造中止を含む）は、当本部の承認を得て同等以上の性能、整備を満たす新型の型式とすることができる。
 - エ 納車時は、燃料を満載すること。

第2章 仕様

1 シャシ

総務省消防庁標準規格消防ポンプ自動車（CD-1）専用シャシ（日本消防検定協会規格適合品）で、

次の機能を有するものとする。

なお、モデルチェンジを行うシャシについては、この限りではなく、機能を有することができない場合にあっては別途協議とする。

- (1) 形式 ダブルキャブFRPハイルーフ仕様
- (2) 寸法 全長5,750ミリメートル程度
 全幅2,000ミリメートル程度
 全高2,750ミリメートル程度
- (3) ホイルベース 2,800ミリメートル程度
- (4) 駆動形式 4輪駆動
- (5) 積載量 車両総重量7.3トン未満（極力軽量化を図ること）
- (6) 乗車定員 5名（前部2名、後部3名）
- (7) エンジン形式 ディーゼルエンジン
- (8) 変速機 マニュアルトランスミッション
- (9) 総排気量 4,000シーシー以上
- (10) タイヤ オールシーズンラジアルタイヤ
- (11) バッテリー 24ボルトー100アンペアアワー2個（容易に点検、取外しができること。）
 AVM装置及び無線機等に必要な容量を十分に確保できるもの。
- (12) オルタネーター 24ボルトー80アンペア以上
 積載資機材及び無線機等使用時に必要な容量を十分に備えるものとする。
 配置後（運転開始後）仕様に不都合が生じた場合は無償にて対策品と交換すること。
- (13) 空調 シャシ純正エアコンディショナー
- (14) キャブチルト 電動・油圧式
- (15) 保温装置 オイルパンヒーター（過充電防止付バッテリー充電装置付き、コード付）
 切替え用のスイッチを差し込みプラグ付近に設置すること。
- (16) 制動補助 ABS装置
- (17) ステアリング パワーステアリング
- (18) 集中ドアロック装置
- (19) エアバック装置（運転席のみ）
- (20) LED式ヘッドライト及びフォグランプ
- (21) サイドバイザー 各ウインドーに取付け
- (22) 電動格納式リモコンミラー（助手席用ミラー付き）
- (23) カーナビゲーション一式（全国版地図付き）
- (24) バックアイモニタ又はサラウンドビューアイ（カーナビモニタ併用）
- (25) ドライブレコーダー（記録媒体含む）
- (26) パワーウインドウ
- (27) 右左折・後退音声警報器（運転席に解除スイッチを設けること）
- (28) ナンバープレートグリル（前後）

- (29) LED式タイヤ灯 (左右)
- (30) 座席シート 飛鳥車体制 超防汚シートカバー付(赤/黒/赤)
- (31) フロアマット (前後席一式)
- (32) スペアタイヤ (ホイール付)
- (33) 自動車標準工具
- (34) タイヤチェーン ワイヤー式
- (35) オイルジャッキ一式
- (36) 非常信号灯一式
- (37) 停止表示板一式
- (38) 車両用消火器

2 主ポンプ

- (1) 主ポンプはアルミ製の高圧2段バランスタービンポンプ又は1段ボリュートポンプとし、動力消防ポンプの技術上の規格に定めるA - 2級以上の性能とし、次の放水性能を有すること。
 - ア 規格放水圧力0.85メガパスカルにおいて規格放水量2.0立方メートル毎分以上
 - イ 高圧放水圧力1.40メガパスカルにおいて高圧放水量1.4立方メートル毎分以上
- (2) 主ポンプのインペラー及びポンプケースの材質は軽量かつ環境リサイクル率の高いアルミ製又は真鍮製とし、ポンプ内は防錆・防食特殊コーティングを施すこと。
- (3) 主ポンプのグランド部はメカニカルシールとし、グリス及びグランドパッキンを使用しない構造とすること。

また、主ポンプメタル部もグリス補充を一切不要なメンテナンスフリー型とすること。なお、メカニカルシール内には、必要に応じて主ポンプの空運転に対応するための冷却機構を設けること。

3 主ポンプ動力伝達装置

主ポンプの動力伝達装置は、シャシのトランスミッション後方にポンプ駆動用ギヤケースを設置し、エンジンの動力を有効にポンプに駆動するもので、操作は運転席のPTOスイッチにより、容易に作動できるものとする。

4 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは完全無給油式真空ポンプとし、耐久性の向上を計るため、ブレードはピーク材を使用すること。

また、真空ポンプ内に水が流入しても、支障のない構造とすること。
- (2) 環境に十分配慮し、オイルやグリス等の充填を一切必要としない完全無給油式とすること。
- (3) 定格回転速度で30分間、最高負荷状態で回転させた場合でも、機能及び性能に支障が生じない構造とし、第三者機関による試験に合格していること。
- (4) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し揚水完了後は自動的に停止すること。

なお、非常用の別系統スイッチを右側に設けるものとする。
- (5) 破損防止のため自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とすること。

5 ポンプ不凍液装置

- (1) 不凍液装置（カプラー式）を右側ポンプ操作部付近に設けること。（専用ゴムホース付き）
- (2) 不凍液を中央吸水管部より吸入させ、主ポンプ等主要部の凍結を防止する構造とすること。

6 冷却装置

- (1) 操作バルブ（確認カップ付）を車体右側ポンプ操作部付近に設けること。
- (2) メイン・サブの2系統を設けること。

7 配管及び各コック

- (1) 吸水口（ストレーナ付）
 - ア 75ミリメートルボールコック付き（ストレーナ付）とし、車両左右各1個及び横引き式自動吸管巻取装置を1個設け、75ミリメートル×10メートルの軽量ソフト吸管を常時接続する構造とする。
 - イ エゼクター装置（確認カップ付）を設けること。
- (2) 放水口（吐水口）
 - ア 65ミリメートルボールコック付き放水口をポンプ室両側に各2口、計4口設けること。
 - イ 65ミリ及び50ミリの町野式ホースが接続できる媒介を取り付けること。
 - ウ レバーは左右とも前方向で開とすること。
- (3) 中継口（ストレーナ付）
 - ア 65ミリメートルボールコック付き中継口を、ポンプ室両側に各1口、計2口設けること。
 - イ レバーは左右とも前方向で開とすること。

8 揚水装置

- (1) 揚水装置の操作パネルは、7インチ高輝度液晶カラーモニターとし、各ボールコックの開閉状態の表示、揚水確認表示等、水ポンプの運転に必要な情報と取扱い説明等を表示できる機能を有していること。

なお、液晶モニターはバックライト付とし、明るさの調整が可能又は自動調光式であること。
- (2) 各操作スイッチは長年の使用でも故障・誤作動のない押ボタン式とし、操作パネル内に設けること。
- (3) 次の機能を有すること。（特記項目以外は製造メーカー標準機能による。）
 - ア 放水反動力表示機能
 - イ 水位により表示色が変わる「水量計表示」機能
 - ウ 水槽吸水コックの「開／閉」表示機能
 - エ 吸管巻取装置吸水コック「開／閉」表示機能
- (4) 次の安全装置機能を有すること。（特記項目以外は製造メーカー標準機能による。）
 - ア 放水開始後、放水圧力を幅広い設定範囲で自動制御する「自動調圧設定機能」を有すること。
 - イ 設定圧力を超えると設定圧力以下になる様に、エンジン回転をコントロールする「上限圧力設定機能」を有すること。
 - ウ 揚水タイムオーバー、吸水圧力異常、低圧中継警報、高圧中継警報等、各状態に合わせてブザー又は液晶画面内表示で警告する機能を有すること。
 - エ 流量により表示色が変わる機能を持たせ、使用流量の把握を簡単にできること。

9 計器

- (1) 圧力計・連成計は、針のブレを抑える計器とすること。また、LED式バックライト付とする。

- (2) シャシ固有のエンジン回転計並びにエンジン油温計を取り付けること。

10 水槽

- (1) 水槽容量は1200リットル以上とすること。
- (2) 水槽の使用材料は環境を考慮し再生が可能なことと、永年使用を考慮し、腐食防止及び軽量化を図ったPP製又はアルミ製もしくはステンレス製とし、十分な強度と耐久性を有したものとすること。
- (3) 水槽は振動、衝撃等により損傷、緩みが生じないように車台に確実に固定し、また水圧に対し、変形及び水漏れ等が発生しない構造とすること。
- (4) 水槽内部には防波板を設け、走行安定性を確保すること。なお、防波板の取り付けはメンテナンス性を考慮すること。
- (5) 水槽からポンプに吸水するための水槽吸水コックを設けること。なお、開閉は左右連動とすること。
- (6) ポンプから水槽へ自己補給するための水槽送水コックを設けること。なお、開閉は左右連動とすること。
- (7) 車体左右に水槽補給口（町野式メス×ネジ式メス媒介／ストレーナ付）を設けること。
なお、媒介には、脱落防止用蓋（鎖付）を取り付けること。また、水槽補給圧は0.35メガパスカルまでの耐圧構造とする。
- (8) 水槽にはオーバーフローパイプを設けること。
- (9) 水槽上部にはマンホール、下部には水槽ドレインバルブをそれぞれ取付け、車両側面で開閉が出来るように施すこと。
- (10) 水量計は両側ポンプ操作部付近に取り付けること。

11 車体の構造

- (1) 車体は堅牢かつ十分な耐久性を有し、あらゆる走行条件に対して安全かつ安定性を持つものであること。
- (2) 使用材料は補助対象規格に定めるもの、又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するPP製又はアルミ製もしくはFRP製を務めて使用し、可能な限り車両の軽量化を図ること。
- (3) 車体の形状は箱型とし、左右2面のシャッターボックスで構成する。車体前方から「水槽」、「ポンプ室」、「資機材収納庫」、「車体後部ホースカー収納庫」の配置形状とすること。
また、左右側板はかさ上加工を施し、赤色点滅灯、作業灯を取り付けるスペースを確保すること。
なお、使用するシャッターはバーハンドル式のアルミ製バーシャッターとし、操作性、防水性に優れたものとすること。
- (4) 水槽は車体前方にボデー一体型で設けること。
- (5) ポンプ室は水槽後部シャッターボックス内に設けること。
なお、ポンプ室上部は資機材収納庫とし、2重巻きホースを左右各5本収納できるスペースを確保すること。
また、資機材落下防止用に上下スライド式パイプを左右開口部に設け、中央部には取り外し式仕切りパイプを取り付けること。床板はアルミ縞鋼板張り（樹脂製すのこ板付）とし、ポンプ点検口をできる限り大きく確保すること。
- (6) リヤフェンダー右側前方にはマフラー放熱用メッシュ板を取り付けること。

また、左側前方には資機材収納用ボックスを可能な限り大きく確保すること。

- (7) 左右リヤフェンダー部に昇降用折り畳みステップ（埋め込み式）を各2個取り付けること。
- (8) ポンプ室後部に資機材収納用シャッターボックスを設け、前方に横引き式自動吸管巻き取り装置を取り付けること。

なお、開閉は左右連動式とし、吸水口コックを介し取り付けること。右側ボックス内後方に展開式資機材取付装置（SUS製パンチング張り）を設け、消火栓開閉金具、スタンドパイプ等を取り付けること。

また、下部にホースブリッジを収納すること。左側ボックス内は資機材収納庫とし、高さ調整可能な移動棚（3段式／機材収納箱2個付）を取付け、下段に照明器具1式（発電機／投光器／コードリール）を収納すること。

なお、三脚はポンプ室上部ボックス内後方に取り付けること。

- (9) アシスト機能付き電動ホースカーは車体後部内に収納し、分岐管等の取付け位置は別途協議する。
なお、ホースカー昇降装置は上下昇降装置式で、車体後部内には、消火器及び空気呼吸器用予備ボンベ収納枠、スコップ、金てこ、ハンマー、ボルトクリッパー等を取り付けること。

- (10) 車体上部昇降用はしご（折り畳み式）は車体後部右側に取り付けること。

- (11) チタン製2連はしごは、車体上部左側に取り付けること。

また、とび口をはしごケース横に取り付けること（刃先カバー付）。

なお、はしごの取付けは、地上からスムーズに昇降が可能なように、ダンパーによるシーソー式とすること。

- (12) 車体上部にアルミ縞鋼板製機材収納ボックスを取り付けること。

なお、ボックスの高さは別途打合せとする。

- (13) 棒吸管（75A×2.5m×4本）は車体上部右側に取り付けること。
- (14) 消防車前部バンパーを張出し、清掃用で上部に乗れる構造としアルミ縞鋼板とすること。
- (15) 清掃用及び乗降用の手すりを、キャブ外部前面上部及び両側面に設けること。（位置は協議すること。）

- (16) 消防署マークはキャブフロントパネル部に取り付けること。

- (17) ナンバープレートはフロントバンパー及び車体後部に取り付けること。

- (18) 牽引フックはフロントバンパー及び車体後部に取り付けること。

- (19) 左右キャブ下にステップを設け、キャブ昇降性の改善を図ること。

- (20) 燃料タンクはシャシ固有のものとし、キャブ下付近に設けること。

- (21) バッテリーはシャシ固有のものとし、キャブ下付近に引き出し式で設けること。

- (22) その他積載品は安全確実に積載ができ、容易に取り外しができる装置を備えること。

- (23) キャブ内前部座席天井、後部座席天井に収納棚を設けること。

また、器材の落下防止を講じること（位置及び構造は協議する）。

- (24) キャブ内後部座席シートは2つに区分し、折畳みができる構造とする。その下部に資器材収納ボックスを設け、上部及び側面の扉から取出しができること。

- (25) キャブ内後部座席前方の中央部にボックス（A3版地図・原調バッグ等入れ）を取付けること。

また、ボックス左右にステンレス製の後部座席握り棒を設け、同質のS字フック（計10個）を取り付けること。

- (26) キャブ内後部座席後方には、保護枠及びパンチングパネルを設け、資器材掛け用S字フック（10個）を用意すること。（当本部はしご車を参照とし、位置及び構造は協議する。）
- (27) 助手席後部に空気呼吸器1基、後部座席後方には空気呼吸器3基を固定できる固定器具を設けること。

1.2 電装関係

- (1) 赤色警光灯はハイルーフ前方部に取り付けること。
- (2) 前座席の中央の上部付近にセンターコンソールボックスを設け、各スイッチ及び電装品（サイレンアンプ、無線機等）が取付け可能な収納ボックスとすること。センターコンソールボックス内の余りスペース及びセンターコンソールボックス前下部には、収納用のボックスを取り付けること。
なお、各灯火類のスイッチは、集中操作ができ、集中スイッチ操作盤に、消防車の状況（ヘッドライトの点灯、PTO作動、シャッターの開閉、展開扉の開閉、各昇降装置の状態等）が確認できる確認灯を設け、夜間においても表示がわかるようにすること。
- (3) 電子サイレンアンプはセンターコンソール部に埋込み式に取り付けること。
また、後部座席からでも広報しやすい位置に電子サイレン用マイクを1個増設すること。
なお、スピーカーは赤色警光灯に内蔵し、前方音量を確保しながら車内側への音量を大幅に削減すること。
- (4) 後退、右左折時警報器を取付けること。（音声アラーム）
- (5) 標識灯はハイルーフに内蔵すること。
- (6) 赤色点滅灯はキャブフロントパネル部に2個、車両側面かさ上部左右に各2個、車体後部左右（保護枠付）に各1個を取り付けること。なお、スイッチは赤色警光灯と連動すること。
- (7) 車両側面かさ上部左右に各2個、車体後部左右（保護枠付）に各1個を取付け、キャブ内及び外部からでも作業しやすいようにスイッチ（外部については保護枠付）を内外に設けること。
- (8) 計器灯は左右計器板上方に取り付けること。スイッチはキャブ内に設けること。
- (9) ポンプ計器灯はポンプ・機関室内に取り付けること。スイッチはキャブ内に設けること。
- (10) 路肩灯は左右リアタイヤ前方に、保護枠付で取り付けること。スイッチはシャシスモールランプと連動すること。
- (11) 各ボックス内にはシャッター及びドアの開閉に連動した照明灯を必要数取り付けること。なおメインスイッチをキャブ内に設けること。
- (12) 運転席前部付近に外部電源出力用差込口としてAC100V2個口を取り付けること。
- (13) 各装置のヒューズは専用ボックスに収納し、キャブ内オーバーヘッドコンソール部に取り付けること。
なお、ヒューズボックスには名称と負荷を明示すること。
- (14) 助手席及び後部座席両サイドに、LEDフレキシブルマップランプを設けること（位置は協議する）。
- (15) 消防車外部に、外部電源出力用差込口として防塵防雨カバー付きAC100V2個口を取り付けること。
- (16) キャブルーフ部の配線は、美観を損ねない露出しない方法とし、防水処置を施すこと。

(17) キャブ内の電源メインスイッチの切替えて、消防車全体の電源を操作できること。

1.3 車載無線機等

- (1) デジタル無線機及びAVM（車輛動態管理装置）本体は、現行車両から移設すること。
- (2) キャブ内に取り付ける無線機本体、AVM及び車外無線機切換スイッチは、運転席及び助手席どちらからでも容易に操作及び視認できる位置に機能的に取り付け綺麗に仕上げること。
- (3) キャブ内に送受話器セット及びスピーカーを操作しやすい位置に機能的に取り付けること。
- (4) ポンプ室左右シャッター内にスピーカーを取り付け、防水対策を施したボックスに送受話器及び現行車両から移設したAVMボタンを取り付けること。

なお、ポンプ室左右シャッターボックス内の送受話器及びスピーカーは新規で取り付けること。

- (5) キャブ上部に無線アンテナを新規で取り付け防水措置を施すこと。
- (6) 配線は可能な限り隠し、キャビン貫通部は雨水等の浸水を防止する構造とすること。
- (7) 詳細については、当本部と協議すること。

1.4 塗装及び記入文字

- (1) 外観塗装全般は、完全な防錆加工を施し、消防塗色（ハイソリッドウレタン塗料H-ECOレッド）にて吹き付け塗装を3回以上上塗りし、十分乾燥させること。
- (2) 車体下廻り等は黒色塗装とすること。
- (3) 各ボックス内及びポンプ室内はグレー（クリア塗装無し）とすること。
- (4) シャッターは消防塗色とすること。
- (5) 手摺り、保護枠及び計器類の金具は、ステンレス製又は良質のクロームメッキ処理とすること。
- (6) 記入文字については次のとおりとし、詳細は別途打合せとする。

なお、当本部の指定する箇所に、文字、マーク等をカッティングシート又は塗装で記入すること。

ア ドア 「山鹿市消防本部（上段）山鹿消防署 鹿北分署（下段）」

イ 標識灯 「鹿北分署」

ウ 対空文字、シャッター等は別途打合せとする。（シャッターのイラストや文字を考える）

1.5 取付け品及び付属品

- (1) 取付け品及び付属品は別表のとおりとする。
- (2) 取付品及び付属品は、JIS規格及び関係法令規格に合格したものであること。

以上

別表 主要装備品及び取付物品

1 取付品及び取付装置

No	品名	内容	個数
1	ポンプ圧力計	TNVP耐振型 (TIN101) 又は同等の性能を有するもの (LEDバックライト付)	2個
2	ポンプ連成計	TNVC耐振型 (TIN91) 又は同等の性能を有するもの (LEDバックライト付)	2個
3	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1個
4	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1個
5	赤色警光灯	ハイルーフ内蔵	1個
6	電子サイレン	大阪サイレン TSK-D152 後部座席電子サイレン用マイク増設 (1個) 音声オプション (春・秋季火災予防、火災気象通報、年末火災予防、通常火災予防広報メッセージ付き) フレキシブルマイク (1個)	1式
7	ポンプ計器灯 照明灯	ポンプ操作部照明灯 LED シャッター内及びボックス内照明灯 LED	必要数
8	後退警報器	音声式 (左右合図入り)	1個
9	標識灯	赤色警光灯又はハイルーフ内蔵	1式

2 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No	品名	内容	個数
1	GPSナビゲーションシステム	後方確認用バックカメラ付又はサラウンドアイ	1式
2	電動サイレン	大阪サイレン5SA (回転灯内蔵/自動吹鳴装置付)	1式
3	真空計	連成計リタート式	2個
4	ポンプ回転計	左右液晶ディスプレイ内表示	2式
5	流量計	左右液晶ディスプレイ内 各放口用表示	2式
6	積算流量計	左右液晶ディスプレイ内表示	2式
7	キャブチルト装置	電動油圧式	1式
8	不凍液注入装置	右側ポンプ操作部付近	1式
9	オイルパンヒーター	過充電防止付バッテリー充電装置付き	1式

		15メートルコード付き	
10	作業灯	後部 大阪サイレン製 LIA-300 2個 側面 大阪サイレン製 LIA-300 4個	計 6個
11	車外無線送話機取出口	埋込みボックス付き	2式
12	自衛噴霧装置	左右側面に各3箇所	1式
13	ドライブレコーダー	フロントカメラ、リアカメラ、モニター付き フルHD200万画素以上、水平画角110度以上、記録媒体カード付属 (64G以上)	1式
14	外部電源出力用差込口	AC100V2個口 キャブ内コンソールボックス 1個 車両外部 (防塵防雨カバー付き) 1個	2個

3 備えなければならない付属品

No	品名	内容	個数
1	吸管	φ75×10m (LF-RS) ACエキスパン金具×1 φ75×2.5m (LF-RS) ACエキスパン金具×4	5本
2	吸口ストレーナー	プラスチック製	2個
3	吸管ストレーナー	プラスチック製	2個
4	吸管塵除けかご	プラスチック製	2個
5	吸管まくら木	ゴム製	2個
6	吸管ロープ	径10ミリメートル×15メートル	2本
7	消火栓金具	呼称75メスネジ×呼称65差込メス	1個
8	中継用媒介金具	呼称65メスネジ×呼称65差込メス	2個
9	消火栓開閉金具	FHバール 鉄 1230ミリメートル×420ミリメートル	1式
10	吸管スパナ	吸管部付近取付	2本
11	管そう	安全管そう 呼称65用、呼称50用	各1本
12	ノズル	23、26ミリメートルストレート 各1個 ダブコンノズル (NV-65W II) 2個	計4個
13	放口媒介金具	呼称65メスネジ×呼称65差込オス自在×2 呼称65メスネジ×呼称65差込オスマルチ×1 呼称65メスネジ×呼称50差込オスマルチ×1	4個
14	とび口	1.8メートル グラスファイバー製 滑り止付	2本
15	バール	SK-11 リフォーム Lバール 750ミリ	1本
16	剣先スコップ		1本

17	ホース延長用資機材	アシスト機能付き電動ホースカー（ホース積載10本程度） 取付け金具付き（管そう2、分岐金具1） 充電セッソー式	1台
18	はしご	2連はしご チタン製KHFL-CT60	1脚
19	車輪止	硬質ゴム製	2組
20	消火器	ABC粉末消火器 20型 自動車用	1本
21	ポンプ工具	消防車ポンプ工具（工具入れ含む）	1式
22	ホース	呼称65（年式及び消防本部名入） NEWプロファイターA ルミライトセーフ加工	30本

4 軽微な変更として備えることができる付属品

No	品名	内容	個数
1	タイヤチェーン	シャシ固有	1式
2	分岐管	呼称65メス×マルチ ×2 （マルチボールバルブ）同等可	1基
3	ホースブリッジ	リバーシブルブリッジ 02RV500R	2式
4	ワイヤー	5メートル×12ミリメートル（シャックル付）	2本
5	照明器具	発電機 YAMAHA EF1600is/EF16His コードリール ハタヤ マルチテモートリールBWM-130K 灯光器 自立式LED投光器 Nomad (Nomad360)	各1式
6	ホース背負器	アルミ製軽量ホース背負器（3本以上収納） キャスター付きで手引き搬送も可能	1個
7	斧	千吉 グラスファイバー柄 アックス 700ミリ	1個
8	ハリガン	Leather Head Tools ハリガン 750ミリ	1個
9	ハンマー	両口大ハンマー グラスファイバー製	1個
10	ホースカバー	ホース収納棚用 防水製	1個
11	スタンドパイプ	単口引上げ式スタンドパイプ（YONE PS-65・800）	1本
12	特殊ノズル	ダブルコンブースト50ミリ（ガンタイプノズル）	1個
13	特殊ノズル用ホース	呼称50 NEWプロファイターA ルミライトセー	4本

		フ加工	
--	--	-----	--

5 規格外ぎ装取付け及び付属品

No	品名	内容	個数
1	消防章		1個
2	前部赤色点滅灯	大阪サイレン LFA-100 (ステンレスプロテクター付)	2式
3	後部赤色点滅灯	大阪サイレン LFA-300 (ステンレスプロテクター付)	2式
4	側面赤色点滅灯	大阪サイレン LFA-300	4式
5	はしご昇降装置	手動引出シーソー式ラダーリフト同等可	1式
6	牽引用フック		必要数
7	外部スピーカー	無線用 左右のポンプ操作部に設置	各1式
8	訓練旗立て	キャブ左側 止めネジ付	1式
9	後輪照明灯	LED	必要数
10	泥除けゴム		4枚
11	サイドバイザー		4枚
12	スイッチボックス		1式
13	キャブ内足ラバーマット	運転席、助手席、後部席	各1式
14	予備ヒューズ		1式
15	S字フック	大型ステンレス製 (キャビン手摺用・パンチングパネル用 各10)	20個
16	バッテリー管理器		1式
17	補修用塗料	スプレー式又はタッチペン式 朱色	2式
18	吸管媒介金具	呼称75ネジメス×呼称65差込メス鑑	2個
19	吸口エルボ	スィーベルエルボー (スーパーシング) 同等可	2個
20	ストレーナーポリかご	ストかご (フック付ロープ、塵除け袋付)	2個
21	ディスクストレーナー	D75S自在型	1個
22	中継口ストレーナー		2個
23	シャットオフボールバルブ	YONE BO-50	1個
24	中継用媒介金具	呼称65差込メス×呼称65差込メス鑑 呼称65差込メス×呼称65差込オス鑑	各2個
25	差込式異径媒介	呼称40差込メス×呼称50差込オス鑑 呼称50差込メス×呼称40差込オス鑑	各1個

		呼称65差込メス×呼称40差込オス鑑 呼称65差込メス×呼称50差込オス鑑	
26	グラントスパナ		1式
27	吸管巻取装置	手動横引き出し型	1式
28	空気呼吸器取付金具	ウォーカーウェーブラレット	4式
29	空気呼吸器	シゲマツ製 ライフゼムA1-12 8リットルカーボン製空気ボンベ 保護カバー付	4基
30	予備ボンベ	8リットルカーボン製空気ボンベ 保護カバー付	12本
31	レスキューコール	Drager Bodyguard 1000	3個
32	拡声器	レイニーメガホンタフ TS-623R サイレン、ウエストホルダー付	2式
33	ホースバッグ	ホースキャリーバッグ BE-010 同等可	4組
34	携帯用サーチライト	ストリームライト116Rデュアリー3AAレーザー 赤色レーザー付きIEC防爆認証	5式
35	万能斧	レスキューアックスSD-01	3個
36	防水シート	AFE-33-0085	3枚
37	カラーコーン	ジャバラコーン PCS-70PW (伸縮式)	4個
38	距離測定計	ウォーキングメジャー STS DWS-160W	1個
39	レーザー距離測定計	屋外対応モデル 測定距離100m以上 防塵防水 対応 1個 収納ケース 1個	1式
40	現場見取図画板	KS-H58-2	4個
41	北川式ガス検知採取器 セット	①AP-20型セット 1式 ②チップカッター 1個 ③火災鑑識用検知管 (石油290P II) 1箱 ④収納ケース 1個	①~④ を1式
42	鑑識用標識板セット	KS-H10 1式 収納ケース 1個	1式
43	ジェットシューター	ジェットシューターS	3基
44	カラビナ	KA102W-S	10個
45	ホースゴムバンド		20個

46	漏水止め応急バンド	ホースの破れた個所に巻く (反射テープ付)	5個
47	デジタルカメラセット	①オリンパス Tough TG-6 1個 ②記録媒体 SanDisk SDXC 128GB 1個 ③収納ケース 1個	①～③ を1式
48	停止表示板		1個
49	スリングテープ	ペツル アノー 60・80・120センチ 各3	計9本
50	アクセサリコード	ニューイングランド 径3ミリ 50メートル	1本
51	パンチングパネル	キャビン後部座席後方空気呼吸器取付け横	1式
52	救出用縛帯セット	①ヘリタックホットシート 1個 ②DMMカラビナ ウルトラD クイックロック 2枚 ③収納バック 1個	①～③ を1式
53	プーリーセット	①123レスキュープーリー (シングル) 2個 ②123ツインプーリー 2個 ③収納バック 1個	①～③ を1式
54	ボルトクリッパー	ZBC-600、絶縁性	1本
55	熱画像直視装置	フリアー K2 セット1式 (充電器、ネックストラップ、USBケーブル等 のセット1式) 収納ハードケース 1個	1式
56	マルチガスモニター	GX3R	1個